

# 井戸端 通信

Vol.31

発行 平成19年3月24日

〒930-0096  
富山市舟橋北町7-1  
富山県生涯学習カレッジ内  
自遊塾広報部

## 「新自遊塾」へのキックオフ宣言

平成18年度塾長 松本 慎一



「学びたい・教えたい」という学びのフリーマーケットである私たちの自遊塾は、富山型生涯学習システムとして全国各地のモデルともなっており、富山県の誇るべき宝とも言えるものです。ところが今回、県の機関や事業の見直しが進められるなかで、「県民カレッジあり方検討会」が設けられるなど、自遊塾にとってこの1年間は、その存亡をかけたいまだかつてないほどの激震の走った年となりました。12年間にも亘って先人たちが築き上げてきたシステムやノウハウ、そして県民に広く親しまれてきた積み重ねの歴史、こうした自遊塾の灯が一瞬にして消されてしまうのではないかとこの危機感と緊張感の中から、県民教授役員会・県民教授会では、

「学びたい・教えたい」という学びのフリーマーケットである私たちの自遊塾は、富山型生涯学習システムとして全国各地のモデルともなっており、富山県の誇るべき宝とも言えるものです。ところが今回、県の機関や事業の見直しが進められるなかで、「県民カレッジあり方検討会」が設けられるなど、自遊塾にとってこの1年間は、その存亡をかけたいまだかつてないほどの激震の走った年となりました。12年間にも亘って先人たちが築き上げてきたシステムやノウハウ、そして県民に広く親しまれてきた積み重ねの歴史、こうした自遊塾の灯が一瞬にして消されてしまうのではないかとこの危機感と緊張感の中から、県民教授役員会・県民教授会では、

原点に立ち返って自遊塾を徹底的に見直すことをスタートしました。様々なアンケートを塾生・県民教授のみならず、実際に実施し、問題点と新しい方向性を探りました。自遊塾のあるべき姿、市

中のカルチャー教室にはない自遊塾の魅力、自遊塾の可能性そして県民教授会のあり方などをまとめ、中川学長に説明しました。また自遊塾の魅力を高める種々の方策や考え方を井戸端通信30号にも載せて広報したほか、この井戸端通信30号が「県民カレッジあり方

自遊塾受講の成果		自遊塾の魅力	
(複数回答可)	人数	(複数回答可)	人数
知識の習得	112	友人を得る・人の輪の広がり	80
コミュニケーションの拡大	54	知ることの喜び	54
友人を得る	46	受講生となった楽しさ	47
勉強の機会を得る	45	費用・経費	34
日常が楽しい	23	講師の良さ・親しみ易さ	30
充実感・時間活用	22	テーマの多様性・ユニーク性	28
ストレス解消	21	自主運営・自由な雰囲気	17
プラス志向に変化	19	休日に受講可能	16
健康に・元気に	19	受講資格が不要	15
野外活動を得る	17	自らの能力発見	12
富山を再発見	14	少人数の受講と利益を享受	12
自信・生甲斐を持つ	13	体力の増進	8
達成感・発表の機会を得る	12	講座回数が適当	4
趣味を持つ	11	子供とも受講可能	2
技術習得	10		
生活に役立つ	9		
癒しを得る	6		
若さを得る	5		
家族の和を得る	4		
	合計462名		合計359名

カルチャー教室と比べ自遊塾が良いと感じる点	
(複数回答可)	人数
費用・経費	58
自主運営・自由な雰囲気	39
内容が型にはまらず	25
仲間との交流	20
講師がボランティア	19
個々に目標設定可能	15
会話が弾む	4
塾生が教授に	2
1年単位である	1
駐車場が有る	1
	合計184名

探りました。自遊塾のあるべき姿、市中のカルチャー教室にはない自遊塾の魅力、自遊塾の可能性そして県民教授会のあり方などをまとめ、中川学長に説明しました。また自遊塾の魅力を高める種々の方策や考え方を井戸端通信30号にも載せて広報したほか、この井戸端通信30号が「県民カレッジあり方

「学びたい・教えたい」という学びのフリーマーケットである私たちの自遊塾は、富山型生涯学習システムとして全国各地のモデルともなっており、富山県の誇るべき宝とも言えるものです。ところが今回、県の機関や事業の見直しが進められるなかで、「県民カレッジあり方検討会」が設けられるなど、自遊塾にとってこの1年間は、その存亡をかけたいまだかつてないほどの激震の走った年となりました。12年間にも亘って先人たちが築き上げてきたシステムやノウハウ、そして県民に広く親しまれてきた積み重ねの歴史、こうした自遊塾の灯が一瞬にして消されてしまうのではないかとこの危機感と緊張感の中から、県民教授役員会・県民教授会では、

「学びたい・教えたい」という学びのフリーマーケットである私たちの自遊塾は、富山型生涯学習システムとして全国各地のモデルともなっており、富山県の誇るべき宝とも言えるものです。ところが今回、県の機関や事業の見直しが進められるなかで、「県民カレッジあり方検討会」が設けられるなど、自遊塾にとってこの1年間は、その存亡をかけたいまだかつてないほどの激震の走った年となりました。12年間にも亘って先人たちが築き上げてきたシステムやノウハウ、そして県民に広く親しまれてきた積み重ねの歴史、こうした自遊塾の灯が一瞬にして消されてしまうのではないかとこの危機感と緊張感の中から、県民教授役員会・県民教授会では、





# 自遊塾で見つけたこと 塾生の声を紹介します

発見!!埋もれた歴史と砺波郡(4)

〜郷土史に見る砺波郡の人々の危機への対処〜

海道 哲夫

今回初めて、県民カレッジを受講させていただきました。技術系の仕事の関係で専門誌以外にはほとんど手が届かなかったのですが、退職し、「さて」何をすれば良いのか...?半年程迷いました。家内に何か受講してみたらと勧められ、色々と選ぶのに迷いましたが、郷土の歴史を知るのも良いかなと思いつきました。



現在に繋がる色々な話を聞き、又資料を見ると身近に感じられます。郷土博物館へ行って古文書を見る楽しみが出来て、これからの旅行にもつながります。その他色々やってみたいと思います。来年もぜひ受講したいと思えます。

歌と文化で学ぶ韓国

藤井登志子

2年目を迎え、内容も深まり時には折田先生の体験談を交えた家族の暖かい絆や、日韓の生活様式の共通点・違い等の身近な事から、幅広い音楽界の歴史等、いつも時間があっという間に過ぎていきます。講座の特徴は、大きな声で歌って、歌詞から発音や意味を知り、和やかな雰囲気の中で楽しく学べる



ことです。途中、留学生の鄭現朱さんが加わり一段と盛り上がりました。彼女を囲みお茶を飲んだり、韓国料理を食べたりしながら細やかな日韓交流をしました。先生や皆さんとの出会いと、知る楽しさを再認識した自遊塾との出会いは嬉しい限りです。

知って得する生活情報

熟年人生を豊かにするための知恵!

堀 俊弘

子供も巣立ち、退職の余暇を晴耕雨読の日々でしたが、県民カレッジの自遊塾と出会い、楽しく学ぶことができ、今までは家内と会話が少なかったのですが、今では塾での話題で団らん在花が咲いています。

串田先生と四人の先生が、それぞれ時代のニーズに合った話題を、肩の張らない話し方で直ぐに解くことができ、学ぶ喜びを感じました。講座の後にお茶を呑み、先生との雑談も大変に良かったです。郷倉先生と数十年前ぶりに会い、懐かしかったです。高齢化社会の中で皆さんとの出会いを大切に、仲間の輪を広げ楽しく学びたいですね。昨年の秋の立山での大交流会で、夜遅くまでの皆さんとの歓談は楽しいひと時でした。官から民の世間で、自遊塾で豊かな知識と経験を持たれた諸先生のボランティアを感謝しています。



旧立山街道を歩き、石仏と語りよう!

大澤 晴美

「石仏」と「歩く」のが大好き人間として、大なる魅力を感じ参加させて頂いた。普段

車でさっと通り過ぎてしまいう石仏、石塔を見て歩こうというのだ。江戸時代(特に文化・文政時代)には、



さかんに立山登山が行われ、立山神定道は、西国三十三観音菩薩の分霊を祀る霊場であったと言われる。ほぼ一里に四尊の間隔でたてられている。第一番の青岸渡寺に始まり、第三十三番の華嚴寺まで、諸国の信者が緑者の追善供養と両親の菩提をとむらうために寄進したものである。珍しいものでは、不空羅索観音(第九番)、准胝観音(第十一番)、又、阿弥陀如来が修業するお姿「法蔵菩薩五劫思惟像」にもお会いできた。今回はただ見て歩いただけだったかもしれないが、改めて、立山信仰登山に対する先人の遺志にふれ、益々引きつけられる思いを強くした。

自然美の転写アート

森 敬子



二年前の春、友人から誘われ、中川先生の「自然美の転写アート」講座に参加しました。「転写アート」には、何の知識もない私ですが、新しい体験への好奇心でいっぱいでした。教室はアットホームな雰囲気、初対面の人ともすぐに仲良くなります。中川先生の丁寧な指導で、あっとい間に作品は仕上がっていききました。今、部屋に飾ってある作品はどれもこれもお気に入り。私の宝物です。製作中、ふっと懐かしさを覚えたのは、子供の頃遊んだ「うつけ絵」に、どこか似ているからでしょうか。

ドイツの魅力にふれよう!

北村 充子

毎日が仕事と家庭に追われ、駆足人生まっしぐら。初めての受講で何もかもが新鮮で、

塾生の皆さんとの交流も和気あいあいと進み、楽しみながら学ぶ事がこんなにも素敵だったとは。2009年はドイツでの世界大会、テレビからは朝一番、グレイチン・モルゲン、何気ないお早う様の言葉に、もう感動!



受講後、家に帰ると息子に自慢。疲れも吹っ飛び鼻歌まじりでいきいき生活。大きな声で(少女の様)にみなさんとドイツ語で歌った野バラ。気分はウィーン少年合唱団、とても気持ち良かったです。平岡先生のお陰でドイツが大好きになりました。ありがとうございました。

ビデオで自分史をつくらう

小杉 喜良

自分史のどこを取ればよいのか迷いました。が、①「中国東北部」、②「登山人生ヒマラヤ」を選び、その中でビデオ撮りに行き易いのは近い①であり、中国貿易をしている先輩を頭に入れ①に決めました。大連(鞍山市(1歳7歳滞在) ↓瀋陽) ↓大連の撮影旅行は先輩の助力で、ある程度一人歩きが出来ました。鞍山市は30万人の大都会になっていました。タクシーに乗りながら住んでいた3階建てで薬局の我が家を探して「通訳が幼児の頃、この裏に住んでいたとのこと、コレだと思つた建物が7階建てになっていました。通訳のナレーション入りで撮影を完了し、帰りに、引き揚げのとき、無蓋列車に乗った鉄道の鞍山駅も撮りに行きましたが、立派な建物には驚きました。翌日から、街の人々の生活風景、私が通ったアカシア並木の小学校、よく迷子になった公園、父母と行った温泉(旧満州国皇帝「溥儀」が泊まった宿)、旧日本人街など、3日間ほど滞在して撮りまわりました。





## 新たに講座を開く

### 県民教授を紹介します。

熟年からのツボ全体で肩こり

楽々3歳若く！(初級)

朝野 隆雄

ストレス社会において心と体の健康づくりがブームになっています。特に熟年は加齢による首、肩こりの症状を訴える人は少なくありません。私も辛い体験をしてこそ言えることとあります。また、自遊塾や健康づくりの講座等で知識や技能を学んできたことを塾生のみならずと交流を深めながら解りやすくお伝えして心と体をスッキリと癒してもらい家族にもお役に立てればと思っています。講座の内容は一人で出来るツボ・整体で肩こり、背骨と骨盤のゆがみを調整する体操、骨の強化法、声で体を癒す、カラオケ健康法といった内容です。実技中心とした講座で症状に合わせて体操法でグループ毎で実践していただきその都度、みんなで効果確認をしながらプラス思考でゆっくりと取組んでいきたいと思っています。

雲を見て今いる場所の

天気予想しよう

斉藤 允

「一天にわかにかき曇り、雷鳴とどろどろとシャ降りる雨」ということは現実にはありません。数時間以上も前兆の雲がどどんと変化していました。

屋外作業やアウトドアスポーツには現在地の短時間の天気変化を予想することが大事です。このためには雲を見る「観天望氣」の「術」が役立ちます。

また、とやまでは豪雪、フェーン、冬季雷など特徴的な気象現象が発生します。気象衛星雲画像や専門天気図などから総観規模の大気構造を知り、やがて気象予報士試験に挑戦しよう。



子どもの安全を考えよう

大津 典子



いじめ、誘拐、性暴力といった、様々な暴力が子どもの身を守るためにどうしたらいいかを、簡単な劇や話し合いを通して、一緒に考えながら伝える教育プログラム(CAPE)を実施して10年になります。学校等で子どもたちや保護者の皆さんにお話してきましたが、子どもの安全をとるべく状況の変化や、地域の皆さんの関心や意識の高まりを強く感じています。私たちの経験や知識をもとに、皆さんと意見交換をしながら、子どもの安全を守るために、今、おとなができることを考えていきたいと思えます。

松下幸之助に学ぶ人生哲学

道嶋 一男

小学校は四年で中退、子供のときから病身のうえ、二十歳のときに肺炎カタルにかかり、二十八歳までに家族十人中、九人が亡くなってしまふ。金もない、学問もない、帰る故郷もない、身体も弱い。文字とあり「ないないづくし」からスタートした松下幸之助が、なぜ後世に名を残す経営者になりえたのか？松下幸之助は、九十四年の生涯に、講演、社員への訓示、対談、インタビューをはじめ、さまざまな機会に多く多くの発言を残しています。経験によって培われた知恵と、考えに考え抜いた思考がちりばめられている。その中から、私たちの「生き方」に光明を与えてくれるものを選んで紹介し、みなさんと一緒に考えてみたい。

ファンタメンタルズって何？BPTCって何？

森 秀裕

20世紀は資本主義が大きく成長するとともに大きな変革を遂げた時代でした。大きな変革は私たちの経済生活にそれまででは考えられなかったような影響を与えました。例えば、世界大恐慌、福祉国家の下での完全雇用、オイルショック後のスタグフレーション、バブル経済とその崩壊。その時々には私たちの社会が受けた様々な影響に真摯に向きあってマクロ経済学は発展してきたと思います。この道を歴史的に辿りながら、経済学の第一歩を勉強していきたいと思えます。

『日本百名山』机上登山

平田 清志

「日本列島を南から北まで桜前線に沿って歩こう、日本百名山に登りながら、マイナス三〇度のチヨモランマC三(七五〇〇)滞在中、そう思ったのが僕と『日本百名山』の出会いです。

帰国後、夏目漱石「二百十日」と阿蘇山、芥川龍之介「河童」と槍ヶ岳のように、『日本百名山・文学登山』をして来ました。

立山が富山県人の精神的風土形成に大きく関わっているように、各地の名山もその地の人々と深く関わっています。それを知るのも百名山登山の楽しみです。

第一回目「富士山」と「世界遺産」。



思い出を形に！スクラップブック

森田由樹子



子供のころの写真アルバムは誰でもなつかしく、また大切な宝物に なっていることではないでしょうか。しかし最近ではデジタルカメラの普及で、写真はパソコンの中。焼くこともなく、整理されないままになっていることも多いと聞きます。

大切な写真を、いつまでもながめていたくなるような作品に仕上げるのがスクラップブックです。写真が傷まない素材を使い、あなただけのオリジナルの作品を作ってみませんか。ハサミやノリを使う手作業ですので、日ごろのデジタルストレスもふきとびます。家族や友人との思い出を写真とコトバで引き立たせましょう。

捨てる前に衣類を素敵に

変身させてもう一度

安達 郁子



押花、ファッションステーション、ポーセラニアート、手編み、ピース刺繍等幅広いジャンルのハンドメイドを手掛けています。ファッションからインテリアまでオンラインのマイブームを楽しみましょう。



# 自遊塾大交流会

…県民教授の連携…

ポランテアから生まれた交流の輪…報告

県民教授

澤井 保子

昨年の10月21日(土)、22日(日)の両日、立山町の国立立山青少年自然の家で、みんなが1つになる自遊塾大交流会が約70人の参加で開催されました。この大交流会は、経田・庄司・松本県民教授ほか県民教授の自発的な企画と呼びかけから始まったのも、その目的は、各講座の枠を超えて県民教授と塾生が交流し、自遊塾の基に一致団結することにあります。

1日目の交流は寝食をともにして行われ皆さんよく食べ、歌い、夜遅くまで語らいました。県民教授も塾生もみんな対等な仲間であることを実感しました。

2日目は「作る体験」



を通じた交流(講座体験と野外炊飯)を楽しみました。野外炊飯では、男性軍は蕎打ち、女性軍はパンとピザを作りました。どちらも粉をこねて、またこねて、ワイワイガヤガヤと、頭も、体も柔らかくなったことでしょう。「疲れた…」と言った人も笑顔でした。「みんなで一つの



ことをする」とは、何と楽しく、心を満たしてくれるものなのでしょう。このような交流の輪がどんどん広がれば、私たちの生き方ももっと豊かになるでしょう。



これからも、一人でも多くの県民の皆さんが参加したいと思われるような学びの場、交流の場、そして支えの場になるよう、「自遊塾」、そしてだれでもが参加できる「大交流会」を盛り上げていきたいものです。

## 参加者の声

自遊塾に関わったからこそ、出会えた人たち。交流があるからこそ、お互いの素晴らしさに気づくことができ、笑顔も生まれます。

食・自然・音楽・健康・趣味など、なんと多くの学びに溢れていることか…！なたとお話ししていても楽しくて、もっと時間がほしいと思いました。利用した施設の規律や集団生活の中で、その時間を楽しむためにできることを、「考動」することの大切さを知ることができた二日間でした。皆さまと過ごした時間に感謝します。

塾生 得能 満里

私は、自遊塾でほほえみ講座を受講させていただきました。とても有意義で、講師の先生を初めとても素敵な受講生の講座で、修了したときはとても寂しく思いました。

そんな時に交流会が行われ、行くのが当然のように何の迷いもなく出席させていただきました。

交流会では、いろいろな方々とお話しでき、前向きで、明るくて元気な方々にお会いする事ができ、こんなにも素敵な方々が大勢いらっしや、そこに私自身が存在している事が信じられないような嬉しい気持ちでした。そして、一人一人が、それぞれに個性的に輝いていらっしや姿を見て、「私も皆さんの様に輝きたい」と心から思いました。

今後、自遊塾には参加していきたいと思っております。交流会を企画運営された方々には、心から感謝をいたします。素敵な出会いの場をありがとうございました。

一般参加 早川久美子

自遊塾の集いに、友人に誘われて、くつき虫の様に、はたまたおじゃま虫の様に特別参加させていただき、深謝申し上げます。

チンドンではじけ、踊りに魅了され、得意のパン作りで完結した楽しい時間を過ごすことが出来ました。未来と自分を信じて喜びを創造して行く事で、社会を元気づけ、自身も生きる力を得るのではないかと触発されました。

塾生 島谷 徹

県民教授有志による自発的ですが手作りの交流会でした。ポランテア意識の高い県民教授と塾生、さらに一般の方も参加して、寝食をともにして行われた交流の機会。自発的に学び楽しむことの楽しさを味わい、さらに一層、社会参加、地域貢献を進めていこうとの思いが皆さんの笑顔から伝わり、内なる元気が呼び覚まされたように感じました。今回、塾生として参加させていただきましたが、是非とも多くの方々を誘ってあげたいと強く感じたとともに素敵な集いでした。

### ■2日目に開かれた体験講座

講義名	担当講師	講座内容
ウォーキング冒険塾	飯野 勝	周辺をミニ・ウォーキング
立山の自然観察	加藤 利雄	立山青少年自然の家の近辺を散策しながら動植物の観察
膝の楽しみ	熊木 保子	小品を作ってみましょう 材料費別途500円
手作り絵本	沢田奈美枝	自分だけの絵本を創ってみましょう 材料費別途300円
趣味と国際貢献	庄司 俊雄	日本のそば文化と国際貢献

### 編集後記

新しい自遊塾をめざして、役員会並びに部会でもいろいろ検討されている事は、案内の通りです。御意見等がありましたら、広報部又は庶務までお願い致します。三十一号がお届け出来ましたのも、皆様の御協力のおかげと広報部一同深く感謝申し上げます。(熊木 保子)